

平成18年度行政評価結果(平成17年度実施事業)

	所属名称	H17決算 (単位:千円)	事務事業名称	事業 の 必要 性	事業 の 優 先 性	事業 の 経 済 性	事業 の 有 効 性	事業 の 公 平 性	合 計	事業説明	事業活動指標	評価結果の具体的理由	評価結果
1	公園緑地課	52,715	上古沢緑地ツツジ植栽整備事業	5	5	3	4	4	21	みどりと清流のふるさと創造構想等の新たな観光資源の創出の一環として、当該緑地にツツジを植栽イベント等を行い、観光資源の一つとして位置付け、整備を図った。	植栽数 21,000本	みどりと清流のふるさと創造構想等の新たな観光資源の創出の一環とした整備のため。	継続
2	公園緑地課	9,783	荻野運動公園拡張区域整備事業	4	4	4	4	3	19	ウォーキングコースを整備し、誰もが安全に施設を利用できるようにした。整備延長 600m	整備延長 600m	現行の状況を見極め、最善の土地利用を見出し、魅力ある施設としていくため。	継続
3	公園緑地課	99,377	公園緑地整備事業	5	4	4	4	4	21	老朽化した施設の改修やバリアフリー化を図り、安心安全な空間づくりが図られた。 整備箇所数 31か所	整備箇所数 31箇所	公園施設の改修整備を進めるとともに、公園整備計画に基づき地域バランスや利用度等判断し、安心安全な整備の推進を図るため。	継続
4	公園緑地課	80,660	斜面緑地公有地化事業	4	4	4	4	3	19	緑の基本計画に基づき、市街地の斜面緑地を特別緑地保全地区に指定し、公有地化を図り、住み良い都市環境を確保した。	公有地 取得面積 2,360㎡	緑の基本計画に基づき、市街化区域の緑地の保全に向け、事業水準を維持していく必要があるため。	継続
5	公園緑地課	1,589	花未来事業	4	4	4	4	4	20	地域の市民団体などにより、公園施設の草花の植付、育成管理を実施したことにより、地域住民が公園施設をより身近なものとし、緑化推進と公園施設に対する意識の向上が図られた。 参加団体数 25団体	参加団体数 25団体	地域の市民団体に市より配布した草花の植付、育成管理を実施することで、市民が公園施設をより身近なものとする協働事業であるため。	継続
6	公園緑地課	228	みどりの基金活用事業	4	4	3	4	4	19	みどりの基金への積立を行い、みどりの保全と緑化の推進が図られた。 寄付件数 4件 寄付金額 228,270円	寄付件数 4件	基金の活用方法等について検討が必要だが、みどりの保全と緑化の推進を図る必要があるため。	継続
7	公園緑地課	7,257	緑を豊かにする事業	4	3	4	4	3	18	緑のまつりやみどりの講座を開催し、厚木市を花と緑あふれる住みよいまちとして発展させるとともに、緑がもたらす潤いと安らぎの認識が高まった。 参加者数等 57,000人(上古沢緑地ツツジ植栽イベントとの同時開催)	参加者数 57,000人	事業内容の検討は必要であるが、花と緑あふれる住みよいまちとして発展させるため。	継続
8	公園緑地課	18,786	緑地保全事業	4	3	4	3	4	18	保護地区等に指定された樹林・樹木等に奨励金を交付し、所有者等に緑の保全育成を促し、良好な生活環境の形成と緑の保全の啓発が図られた。 奨励金交付件数 527件	奨励金 交付件数 527件	緑を豊かにし、良好な生活環境を形成するとともに、市民に保全の啓発を行うため。	継続
9	都市整備総務課	345,462	自動車駐車場事業(特別会計繰出金)	5	4	3	4	4	20	市営駐車場の計画的な維持管理及び健全な運営を図り、本厚木駅を中心とした交通渋滞・混雑・路上駐車緩和が図られた。 利用台数 308,412台	利用台数 308,412台	施設利用者の拡大確保に努めるとともに、維持管理業務の軽減に努力し、最適な施設利用への事業展開を図り、公共駐車場の役割を果たすため。	継続
10	都市再生課	10	寿町一丁目周辺地区整備計画策定事業	4	5	4	4	3	20	地区住民と一体になって防災計画の立案を行い、密集市街地における防災対策の推進が図られた。 協議回数2回、個別自治会説明会回数3回、公園緑地課と共に自治会説明会回数1回、まちづくり協議会委員数19人	協議回数 6回	地域住民と一体となった防災に強いまちづくりを推進していくため。	継続
11	都市再生課	13,160	中町第2-2地区市街地再開発推進事業	5	4	3	4	3	19	中町第2-2地区周辺において、公共公益施設を始め、商業・業務・居住等の多様な都市機能を集積するとともに、交通拠点機能や歩行者ネットワークを充実させるための事業計画(案)を作成した。 また、地元地権者等と協議、検討をし、利便性と快適性を兼ね備えた複合市街地の形成を推進することができた。	協議回数 10回	都市再生の最重点整備地区であり、公共施設を含め各種機能の配置計画を進めるため。	拡大

	所属名称	H17決算 (単位:千円)	事務事業名称	事業 の 必要 性	事業 の 優 先 性	事業 の 経 済 性	事業 の 有 効 性	事業 の 公 平 性	合 計	事業説明	事業活動指標	評価結果の具体的理由	評価結果
12	都市再生課	6,416	愛甲石田駅周辺整備事業	4	3	3	4	3	17	都市機能の充実及び良好な市街地の形成を図るための事業計画(案)を作成した。 駅前広場、道路等の公共施設を始めとする都市基盤の事業計画案ができ、地元権利者と協議、検討を進めた。	まちづくり研究会 参加者数 90人	本厚木駅周辺地区を補完する副都 市中心拠点として都市基盤整備を推 進する必要があるため。	継続
13	都市再生課	22,787	都市再生推進事業	4	4	5	4	3	20	交通渋滞の解消や中心市街地の活性化に向けた「厚木の顔づくり」のため、「まちの魅力と心やすらぐ景観づくり」や「人が集まる仕掛けづくり」に向けた調査、研究を行い、本厚木駅周辺の重点整備地区における機能更新を図るためのまちづくり事業を推進した。	協議回数 4回	都市再生緊急整備地域及びその周 辺において、民間開発などの動向を 把握しながら、民間活力の導入に向 け事業計画の策定をしていくため。	継続
14	本厚木駅南口再開 発事務所	11,494	本厚木駅南口地区市街地再開発 事業	4	4	3	4	3	18	再開発事業推進計画により、都市計画決定及び組合設立認可等に向け て市街地再開発事業の推進を図った。	協議回数 4回	都市再生緊急整備地区内であり、 各種機能の配置計画を進める必要が あるため。	継続
15	地域再生課	4,972	地域再生推進事業	4	4	3	4	4	19	地域経済の活性化を目的として、厚木の特色ある里山、豊かな自然環境 を有効に活用し、地場産品の販売などを行う「ふるさと食文化村」や自然と ふれあう「ふるさと自然文化村」、地域の自然を活用したエコツーリズムによ る自然学習拠点整備を推進するため、地域で組織された活性化団体の会 議に参画した。	協議回数等 23回	地域経済の活性化の着実な推進を 図るため。	継続
16	下水道総務課	3,050,557	公共下水道事業(特別会計繰出 金)	5	4	4	4	5	22	下水道使用料の賦課・徴収を行い、公共下水道の整備促進及び維持管 理が図られた。 汚水・雨水管整備延長 2,368m	汚水・雨水管 整備延長 2,368m	公共下水道の整備促進及び維持管 理に必要不可欠であるため。	継続
17	下水道施設課	58,825	排水路整備事業	4	4	3	4	3	18	浸水被害の危険性のある箇所に対して、雨水排除のために排水路の整 備をし、台風等の集中豪雨による浸水被害の防止を図った。 排水路整備延長 519m	排水路整備延長 519m	浸水被害の解消に向け、公共下水 道雨水計画に基づき整備する必要が あるため。	継続
18	下水道許認可指導 課	5,134	水路台帳整備事業	4	4	4	4	5	21	水路管理システムの構築及び属性データの入力により水路管理台帳の 整備を進め、事務の軽減、省力化や窓口での対応の迅速化、確実さの向 上を図った。 譲与申請図書等入力数 2,983件	譲与申請 図書等入力数 2,983件	水路管理台帳を整備し、事務の軽 減、省力化や窓口での対応の迅速 化、確実さの向上を図った。平成17年 度で事業は完了した。	完了
19	下水道許認可指導 課	2,000	排水路台帳整備事業	4	4	4	4	5	21	分流式下水道事業の一環として、市街化調整区域を浸水のない安全なま ちづくりに向け、雨水を排除する排水路を適切に維持管理するための台帳 整理を進める。なお、平成18年4月から汚水について下水道台帳管理シ ステムを稼働する予定	調査箇所数 403箇所	平成18年度から下水道台帳管理シ ステムとの統合によって利用者により 便利なものになる。	統合
20	河川課	2,509	親水環境施設整備事業	5	4	3	4	3	19	市民生活に潤いを与える水辺環境の創出のため、地域住民の意見・要望 等を確認し、水路敷の適正な維持管理と有効利用の可能性について方向 性をまとめた。 調査委託路線数 32路線	調査委託 路線数 32路線	水辺をテーマに水と緑と人とのふれ あいの場の創出に向け、今後、水辺 ふれあい事業として他事業と統合に より展開していくため。	統合
21	河川課	4,830	河川台帳整備事業	3	3	3	3	3	15	現在までに蓄積されている恩曾川の情報を有効活用するため、河川台帳 システムを構築し、事務の合理化、効率化を推進し、市民サービスの向上 を図った。 台帳整備延長 2,400m	台帳 整備延長 2,400m	河川台帳システムを構築し、事務の 合理化、効率化を推進し、市民サー ビスの向上を図り、計画的に台帳整備 を実施していくため。	継続
22	河川課	124,115	準用河川恩曾川改修事業	5	4	3	4	3	19	恩曾川の改修を行い、市民を水害から守るとともに親水性や動植物の生 息環境に配慮した多自然川づくりを推進した。 整備延長 40m	整備延長 40m	都市再生整備計画に加えるとともに 上流域の都市化や集中豪雨の多発 などに対応する治水の向上、リバー サイド・ウォークロード整備事業と統 合し展開していくため。	統合

	所属名称	H17決算 (単位:千円)	事務事業名称	事業 の 必要 性	事業 の 優 先 性	事業 の 経 済 性	事業 の 有 効 性	事業 の 公 平 性	合 計	事業説明	事業活動指標	評価結果の具体的理由	評価結果
23	河川課	23,232	普通河川改修事業	5	5	3	3	3	19	市道川の河川改修工事を延長67.3m実施し、危険箇所の改修を行った。	整備延長 67.3m	市民を水害から守り、安心、安全な街づくりと地域や自然環境に配慮した配慮した河川づくりを推進し、今後、水辺ふれあい事業と統合して展開していくため。	統合
24	河川課	6,869	リバーサイド・ウォークロード整備事業	4	4	3	3	3	17	恩曾川の堤防道路を整備することにより、水辺とのふれあいを保ちながら快適に散策できる空間の整備を行った。 整備延長 249m	整備延長 249m	快適に散策できる空間の整備を図るため、恩曾川河川改修事業と足並みをそろえ整備を実施していくため。	統合